

県政の課題や問題点...

雲南市で尾村県議が報告

日本共産党雲南市委員会は10月29日夜、尾村利成県議を迎えて県政報告会を開き、16名が



参加しました。(写真)

県は人口減少対策として県政運営の最上位計画に掲げる「島根創生計画」(2020〜24年度)を具体化するため、既存事業を見直し、財源を確保するとしています。

尾村県議は、県内すべての小中学校を対象にしている少人数学級編成や学校図書館への司書配置事業なども見直し対象になっていると紹介し、「県民生活に支障が生じないように、みなさんと力を合

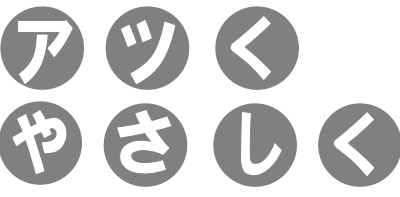
民間英語試験導入の中止を

来年度から大学入試に民間英語試験を導入する問題で、萩生田光一文部科学大臣が経済的・地理的な差でその公



院議員 前議 大平よしのぶ

大平よしのぶ



平性が脅かされるのではとの質問に対して、「身の丈にあわせて受験を」と述べました。

私は耳を疑いました。家の経済的事情によって子どもたちの受験機会に格差ができることを容認したこの発言。そもそも文科大臣が子どもたちに対して「身の丈にあわせて生きていけ」と言い放つその感覚、これは決して見過ごすわけにはいきません。

社会に存在するさまざまな格差を一つひとつ是正し、誰もが安心して過ごしていけるようにすることこそが政治の役割に他ならず、とりわけ未来を生きる子どもたちには、一人ひとり

わせていきたい」と語りました。

参加者からは「県政の課題や問題点を学ぶ良い

介護労働者の労働条件改善を

しまね介護福祉ユニオン・ボンズが県と懇談

介護士らでつくる労働組合「しまね介護福祉ユ



機会となりました。また聞かせてもらいたい」などの感想が寄せられました。

ニオン・ボンズ」が1日、県庁を訪れ、介護労働者の処遇改善を求め、県と意見交換しました。(写真) 日本共産党の尾村利成、大田陽介の両県議が同席しました。

参加した介護士や看護師らは「仕事に就いても生活できないとなると辞めてしまう。人材不足解消のためにも処遇を改善してほしい」と知事をはじめ

が持っている可能性を最大限に伸ばしていくことができるようにすることが、文部科学行政の一番の責務です。

私自身も母子家庭の貧乏な家で育ち、塾にも通えず、それこそ受験機会も限定され、たいへん苦勞をした一人です。政治はそういう子どもたちをぜひ応援し、後押ししてほしい、そんな政治を実現したいと願ひ、この仕事につきました。

現職時代には希望を託して文部科学委員会の担当にさせていただき、学校現場や子どもたちの深刻な実態の解決のために、と論戦にとりくんできました。

今国会では、教員の1年単位の变形労働時間制を導入する法改正も狙われており、これを許せばさらなる長時間労働が固定化し加速化してまいります。また、国立大学の授業料が各地で値上げとなり、さらに安倍政権が導入する修学支援制度によって授業料減免が受けられなくなる学生が多数生まれるという矛盾した事態まで起ころうとしています。

出雲 平和を語り継ぐつどい

山崎功さん 遺骨収集を語る

出雲市で「平和を語り継ぐつどい」がこのほど開かれました。戦没者の遺骨収集に長年携わっている同市在住の山崎功さん(76)に経験を聞いて学ぼうと、日本共産党も参加する同実行委員会主催しました。

山崎さんの父は1944年8月2日、太平洋戦争の激戦地マリアナ諸島のテアニン島で戦死しました。山崎さんは15年前に初めて同島を訪ね、

「慰霊祭」に参加しました。以後、遺骨収集に携わりたいと思うようになりました。山崎さんは「無念の死を遂げた父らを早く日本へ連れて帰ってあげたいという思いで遺骨収集をしてきた。一人でも多くの人の関心を持ってほしい」と話しました。

参加した女性は「戦地での生きた証しや遺骨が家族のもとへ早く帰ってほしい」と語りました。

地域の話題

地域循環型経済を

原田議員が質問

原田議員「アベノミクスによりグローバル循環への移行が進んだ。経済循環のグローバル化と内需低迷は、大企業が儲ければトリクルダウンするという効果はなく、中小企業、自営業の破壊を進めている。持続可能な地域経済の土台は、地域特性を活かしたローカル循環型にあると考えるが、見解を伺う。

政策推進部長「地域の資源や特性を活かした事業への取り組みや、農産物の六次化事業などの地域内産業連携は重要な産業振興策と位置づけています。(原田きよ子の議会だより)より」

アベノミクス

2018年度一般会計

決算に反対

中核市となった4月から、児童クラブ利用料等の値上げに続き、10月からのごみ袋値上げで市民の市当局に対する信頼が大きく損なわれた。市職員の退職手当引き下げ、生活保護費のさらなる引き下げ、保育所・児童クラブの待機児問題、学力テストの実施や中学生のキャリア教育として、いまだに自衛隊を候補としていることなどの理由で反対。

学校給食に地元産食材が26.9%から35%に伸び、ホテル2カ所と市立病院で地元産食材が使用

第40回市民憲法フォーラム

基礎から学ぶ！憲法9条

- 11月16日(土) 島根県民会館303会議室
- 開会 14:00 (講演 14:10~15:40) / 終了 16:00
- 講師 中川修一さん (弁護士)
- 資料代 500円
- 主催：島根県憲法会議事務局 電話 0852-27-1216

されるようになったこと、小中学校のエアコン設置の準備が進められたことは評価する。(吉儀けい子の議会報告)より)

日米貿易協定中止を

上代議員が質問

上代議員「交渉の中止が一切明らかになれないまま進められてきた日米貿易協定は、厳しい農業経営の雲南市の農家、農業経営体にも大打撃となる。今からでも日米貿易協定交渉を中止するよう求めるべきではないか。

市長「国民の状況をないがしろにしたまま進められるということは絶対にあってはならない。実態に合った運用がされるよう、国にしっかりと行っていく。(上代かずみの議会報告)より」